

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員の意識向上に繋がるよう身体拘束委員会を実施し話し合いの場が設けられている。時にスピーチロックに繋がるような言動がないようにしたい。	利用者を尊重する気持ちを大切に、敬意を持った優しく丁寧な対応をすることで信頼関係を構築する。スピーチロックにならない言葉への言い換え言葉を職場全体で考え、思いやりを持ち明るく笑顔で接したい。	定期的な勉強会を実施し、「言い換え言葉例」の文集や一覧表を作成して職員全員に共有する。無意識のうちに発している言葉を聞いたとき、その都度職員間で注意しあう。表現を柔らかくすることの意識付けをする。	6ヶ月
2	26	日常会話の中から利用者個々のやりたいことを把握し、出来るだけ入居者の意思に沿ったケアが出来るように職員間で情報共有し介護計画に繋がるようにしたい。	利用者に思いやりを持って向き合うことで一人一人の思いを汲み取り、本人の思いに沿った介護計画を一緒に考えたり、身近な目標を持つことで達成感を共有する。	日々何気ない言動も利用者の言葉で記録に残す。カンファレンス等で利用者が何をしたいのか、どのように取り組めば目標達成できるのかを計画に取り込めるようにする。結果だけでなくプロセスもしっかり検証する。	6ヶ月
3	34	緊急時対応は向上してきてはいるが実際に遭遇した場合気持ちがあせり慌ててしまうケースがある。	常に頭の中でシュミレーションし、緊急時に的確に行動対応できる体制整備と職員の意識向上。	実際に有事が発生した際を想定し、より実践的な職場内研修を行い、定例的に緊張感を保つことで職員の意識を高める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。